

～自死遺族等支援団体向け～

「オンライン形式のわかち合いの会」 運営スタッフ研修 (全4回)

遺族の「わかち合いの会」の新たな可能性を模索する

新型コロナウイルスの影響で、「対面形式のわかち合いの会」は自粛・縮小が余儀なくされました。すでに一部の自死遺族等支援団体で始められている「オンライン形式のわかち合いの会」は、感染のリスクを避けるだけでなく、遠隔地からの参加や、境遇の似た遺族が集まりやすくなるなど「対面形式のわかち合いの会」の課題を解決できる可能性があります。本研修では、自死遺族にとって安心・安全な環境作りを踏まえた上で、「オンライン形式のわかち合いの会」を実施するための基本的な考えやノウハウを実践例から学びながら、「オンライン形式のわかち合いの会」がもたらす新たな可能性について、共に考えることを目的としています。

第1回は「**基礎編**」(必須受講)、第2～4回は会の対象別の「**実践編**」(選択受講)

第1回

「オンライン形式のわかち合いの会」の**基礎** ～遺族にとって安心・安全な環境作りとは～

参加費
無料

2021年9月18日(土) 14:00～17:00

講師

一般社団法人日本グリーンフ専門士協会 代表理事 井手 敏郎
特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター 代表 杉本 脩子 など(詳細は裏面に記載)

対象者

対面やオンライン形式の「わかち合いの会」を実施している自死遺族等支援団体のスタッフ

定員

先着 40名 ※講義部分は後日、研修用動画を公開予定

内容

- ・全国の自死遺族等支援の実態報告
- ・「わかち合いの会」運営のポイント～遺族にとって安心・安全な環境作りとは～
- ・オンライン開催の利点と課題
- ・運営の基礎と傾聴の実践、「オンライン形式のわかち合いの会」疑似体験

申込QRコード



申込フォーム

<https://forms.gle/fLcktGedJ8PKhXtc9>

9月8日(水) 締切

第2回～4回

「オンライン形式のわかち合いの会」の**実践** (対象別で選択)

第2回

「大人向け」の会： 2021年11月27日(土)

開催時刻はいずれも14:00～16:00

第3回

「若者向け」の会： 2022年1月29日(土)

(申込については後日ご案内予定です)

第4回

「子ども向け」の会： 2022年3月12日(土)

定員

各回 先着 20名

※ 第2回以降の研修の参加には、「オンライン形式のわかち合いの会」の**基礎**を受講または動画視聴していただく必要があります。

講師紹介

「オンライン形式のわかち合いの会」の基礎 ～遺族にとって安心・安全な環境作りとは～

第1回：2021年9月18日（土）開催

ゲスト講師



井手 敏郎 一般社団法人日本グリーフ専門士協会 代表理事

幼少期の喪失体験をきっかけに、大学卒業後、仏門を志すが、自身の信仰に疑問を感じ、仏門を離れる。その後、日本、アメリカ、ドイツでグリーフケアを学び、2015年に一般社団法人日本グリーフ専門士協会を設立し、代表理事に就任。

*オンラインわかち合いの会「グリーフサロン」「ペットロスサロン」を毎月開催。
公認心理師／米国臨床心理学修士号（MA）取得
一般社団法人全国心理業連合会認定プロフェッショナル心理カウンセラー（上級）
著書『大切な人を亡くしたあなたに知っておいてほしい5つのこと』（自由国民社）



杉本 脩子 特定非営利活動法人全国自死遺族総合支援センター 代表

スイス・ジュネーブ音楽院卒業、国内外で音楽活動を行っていたが、1984年夫の病死后、遺族支援活動に携わり、2005年より自死遺児との出会いから自殺対策に取り組む。遺族支援は精神面・生活面の総合的取組が必要との考えのもと、相談窓口、わかち合いの会等の運営を行う。

厚生労働省有識者会議委員、全国自治体の自殺総合対策検討委員。
*「身近な人を亡くした若者のつどい」をオンラインにて毎月開催。

JSCP 講師



清水 康之 厚生労働大臣指定法人いのち支える自殺対策推進センター 代表理事

元NHKディレクター。「クローズアップ現代」で自死遺児たちの番組を制作したことがきっかけで、自殺対策の重要性を認識。NHKを退職し、2004年にNPO法人ライフリンクを設立し、代表に就任。署名運動や国会議員への働きかけによって「自殺対策基本法」成立に貢献するなど、自殺対策の「つなぎ役」として奔走。

超党派の国会議員でつくる「自殺対策を推進する議員の会」アドバイザーとして、2016年の基本法の大改正にも関わる。



菅沼 舞 厚生労働大臣指定法人いのち支える自殺対策推進センター 自死遺族等支援室 室長

2004年に父親を自死で失い（当時17歳）、2007年東京ビッグサイトで行われた官民合同シンポジウム「自殺を『語ることでできる死へ』」に自死遺族として登壇。

大学卒業後、一般企業勤務を経て、2014年からは一般財団法人あしなが育英会の学生寮で親を亡くした大学生たちのサポートに従事。

2020年より、厚生労働大臣指定法人いのち支える自殺対策推進センター 自死遺族等支援室室長。